

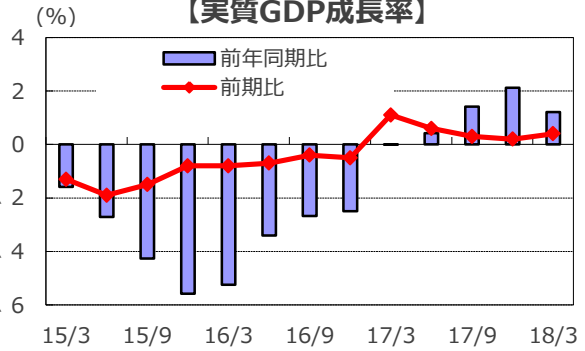
今日のトピック ブラジルの経済・市場動向 (2018年5月)

景気は緩やかな回復続く、ストを受け市場はトリプル安

ポイント1 GDPは前期比+0.4%
緩やかな回復基調

- 5月30日に発表されたブラジルの2018年1-3月期の実質GDPは前期比+0.4%と、市場予想(ブルームバーグ集計、同+0.3%)をやや上回り、5四半期続けてプラス成長となりました。前年同期比では+1.2%と、4四半期連続のプラスでした。内訳をみると、消費主導で緩やかな回復基調にあることが確認されました。

【実質GDP成長率】

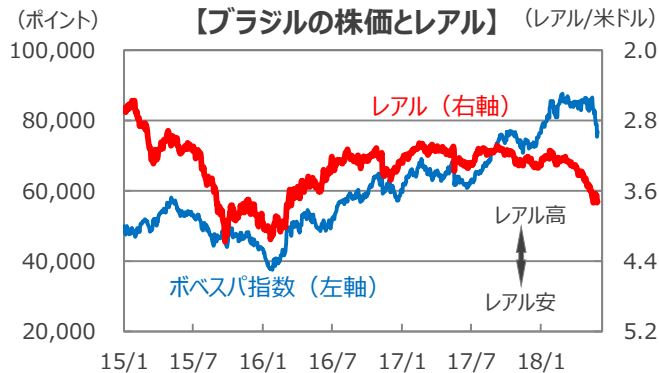


(注) データは2015年1-3月期~2018年1-3月期。(年/月期)
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 ブラジルで大規模スト
景気への影響が懸念される

- しかし、ここきて景気の減速要因が浮上しています。ブラジルで燃料価格の高騰に抗議するトラックの運転手組合の大規模ストライキが5月21日に発生し、物流網のまひにより経済に混乱をきたしています。テメル政権は、燃料価格の引き下げなどの対策を提示したものの、混乱は収まらず、軍が出動する事態に発展しました。テメル政権は、追加の対策を提示しましたが、ストは続いている模様で、景気への影響が懸念されます。

【ブラジルの株価とリアル】 (リアル/米ドル)



(注1) データは2015年1月1日~2018年5月30日。(年/月)
(注2) (リアル/米ドル)は逆目盛。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 大規模ストの早期収束が図れるかに注目

- 米金利高に伴う資金流出懸念から不安定だったブラジルの金融市場は、トラックの運転手の大規模ストもあり、トリプル安に見舞われました。株式市場では、主要株価指数のボエスパが5月28日に年初来安値をつけるなど、大幅に調整しました。為替市場では、通貨リアルが対米ドルで2016年3月以来の安値水準に下落しました。債券市場も下落し、10年国債利回りは4月末の9.8%台から5月30日には11.4%台へ上昇しました。
- ブラジルのトラック運転手のストが更に長期化すれば、景気減速に加えて、インフレ加速や同国政府の支出拡大による財政悪化をもたらすリスクがあります。ストが石油業界に波及し、国営石油会社による新たなストが行われたとの報道も出ているなか、ストの早期収束が図れるかが注目されます。

ここもチェック! 2018年5月17日 ブラジルの金融政策は現状維持 (2018年5月)
2018年4月20日 ブラジルの経済・市場動向 (2018年4月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。